



多賀観光協会の
サイトはこちら
から



滋賀県第一の大神として「お多賀さん」の愛称で親しまれる多賀大社。一年を通して数多くの祭事が執り行われますが、4月の「古例大祭（多賀まつり）」と並び、年間で最も重要な儀式の一つとされるのが、毎年9月9日に執り行われる「九月古例祭」です。重陽の節句に行われるこのお祭りは、実りの秋を前に五穀豊穡を感謝する伝統行事です。本殿での儀式が終わると御旅所まで騎馬など約200名が練り歩くお渡りが行われます。

■ 九月古例祭（多賀町）

豊作占う角力三番勝負

古例祭お渡りの様子＝多賀町の多賀絵馬通りで



祭りの一番の見どころは、午前9時半ごろから境内の特設土俵にて奉納される「古知古知相撲」です。「古い出来事をしのぶ」という意味が込められているこの相撲には、味わい深い伝説が残されています。太い神事角力です。

古知古知相撲の様子＝同町の多賀大社で



「東方（多賀の里）」と「西方（寿命ヶ石）」に扮した選抜れた青年たちが土俵に上がり、真剣な三番勝負を展開して、今年の豊作を占います。東方が勝ち越せばその年は「豊作」になると言われており、張り詰めた緊張感の中で交わされる力強い立ち合いは、見る者の胸をグッと熱くさせます。

多賀大社をゆつたりと参拝し、参拝後は門前町（通称・絵馬通り）で名物の「鍋焼きうどん」や延命長寿を願った「糸切餅」などを味わいながら、ゆつくりと散策するのもおススメです。歴史と温かな情緒があふれる秋の多賀大社へ、ぜひ、おでかけしてみませんか。



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

【開催情報など】九月古例祭は9月9日午前9時から、多賀町多賀の大賀大社で。近江鉄道多賀大社前駅より徒歩約10分。車の場合は名神高速道路彦根インターチェンジ（IC）より約10分、湖東三山スマートICより約15分、多賀スマートICより約5分。多賀観光協会＝0749（48）1553